

II. 吉城園周辺地区の価値の整理

2. 吉城園周辺の成り立ち

③ 興福寺元境内として名勝指定（大正11年）

- 当該地区は、東大寺と興福寺の寺領が入り組む地域で、幕末には、興福寺の子院である摩尼珠院（現吉城園）、世尊院（現国際奈良学セミナーハウス）があったところといわれる。
- 名勝指定文（大正11年指定）には、「春日山花山若草山等ノ山林」の自然的要素と、「**興福寺元境内**及び春日野」、「東大寺手向山神社等ノ境内地」、「風致上必要ナル民有地」の人文的要素が調和する良好な風致が形成される公園地として指定された。

名勝奈良公園 大正11年3月8日 指定文

奈良縣ノ經營ニ屬シ明治十三年興福寺元境内及び春日野等約四万三千坪ノ地ヲ劃シテ公園ト爲シタルニ始マル、後春日山花山嫩草山等ノ山林及東大寺手向山神社ノ境内地ヲ編入シ更ニ風致上必要ナル民有地ヲ買収シ以テ今日ノ區域ヲ成スニ至レリ

名勝指定時（大正11年）の奈良公園平坦部

名勝指定理由である「興福寺旧境内が形成する良好な風致」の保存管理は大前提



計画地



興福寺旧境内地図

出典：「奈良公園地及隣接地概要平面図

（文化庁記念物課所管資料『大正十年七月十五日奈良縣教第四一四九号添付』）

出典：奈良県立橿原考古学研究所

II. 吉城園周辺地区の価値の整理

2. 吉城園周辺の成り立ち

④ 風致上必要な民有地として名勝追加指定（昭和2年）

- 大正15年には、計画地を含む民有地が、「著名ナル風景ヲ眺メ得ル特殊ノ地点」として追加指定（仮指定）が図られた。
- 昭和2年には、その仮指定地が名勝地として追加指定された。

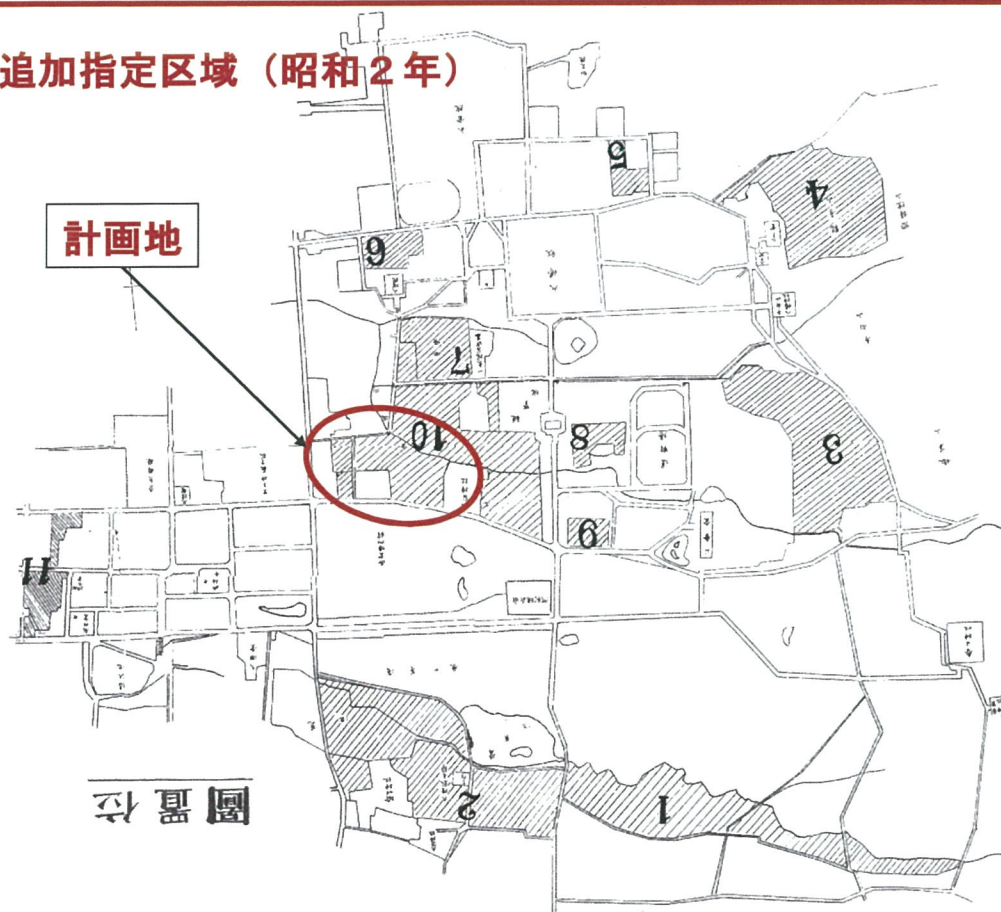
「風致上必要ナル民有地」として、吉城川を中心とする旧邸宅並びに樹林地を名勝に追加指定した経緯を尊重

名勝奈良公園 大正15年7月20日
追加指定区域の概要

全第十号地

吉城川ヲ中心トシテ南ハ公園道路ヲ狭
ミ帝室博物館敷地及村社氷室神社境内
ニ接シ北ハ勸学院及東大寺西塔趾ニ接
シ東ハ南大門ニ接スル土地ニシテ沿道
ハ人家並立スルモ大部分ハ樹林地ナリ
殊ニ吉城川ヨリ北ノ大部分ハ依水園ト
テ造園ノ美ヲ盡セル一大区劃ヲ成シ之
等皆奈良公園ト共ニ名勝地トシテ保存
ヲ要スル地域トス

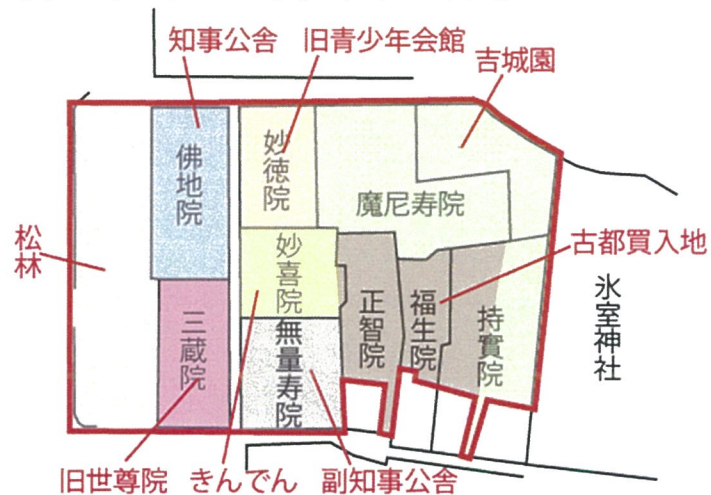
名勝追加指定区域（昭和2年）



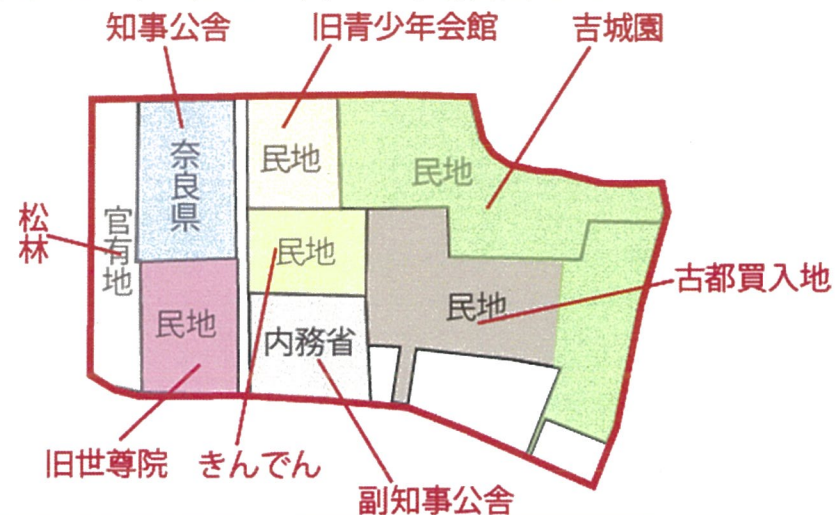
II. 吉城園周辺地区の価値の整理

3. 古地図からみる地割りの変遷

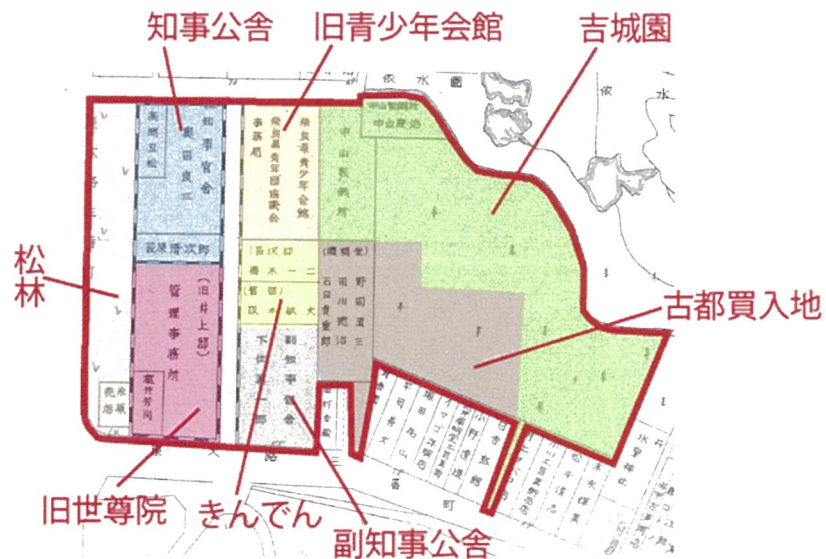
① 宝暦10年（1760年，江戸時代）



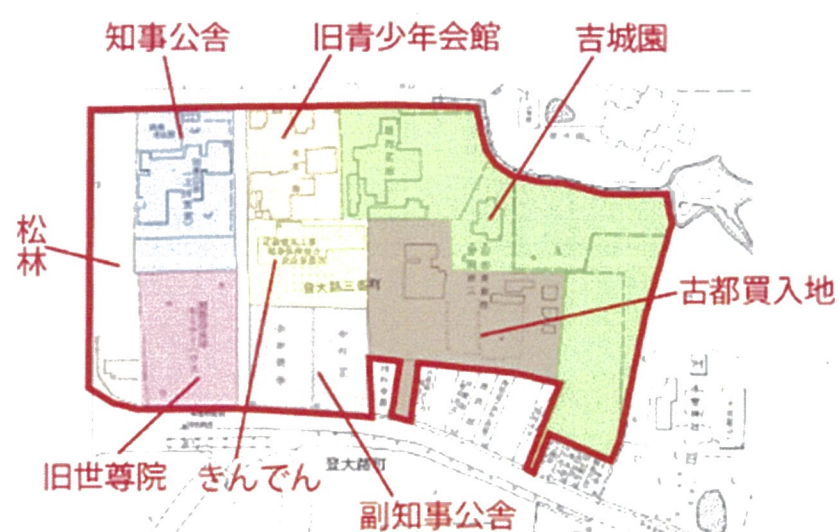
② 大正11年（1922年）※名勝指定時



③ 昭和36年（1961年）



④ 平成元年（1989年）



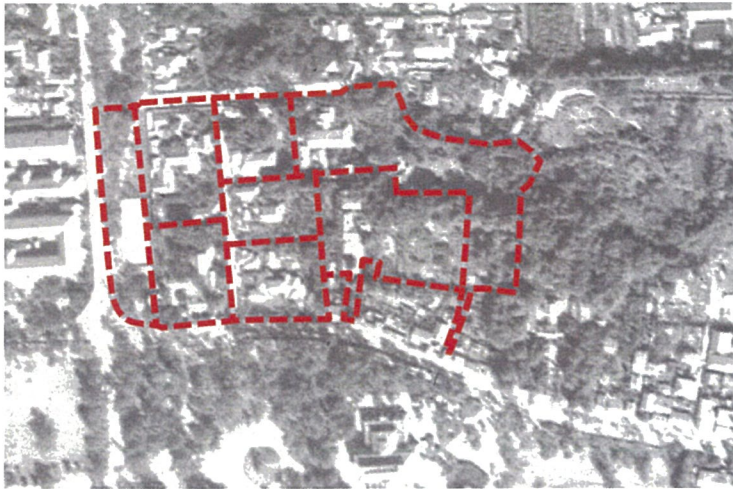
・吉城園、古都買入地は、複数の地割りが統合し現在の地割りを形成しているが、それ以外は江戸時代からの地割りを継承している。
 ⇒名勝指定時の地割りが色濃く継承されている。

II. 吉城園周辺地区の価値の整理

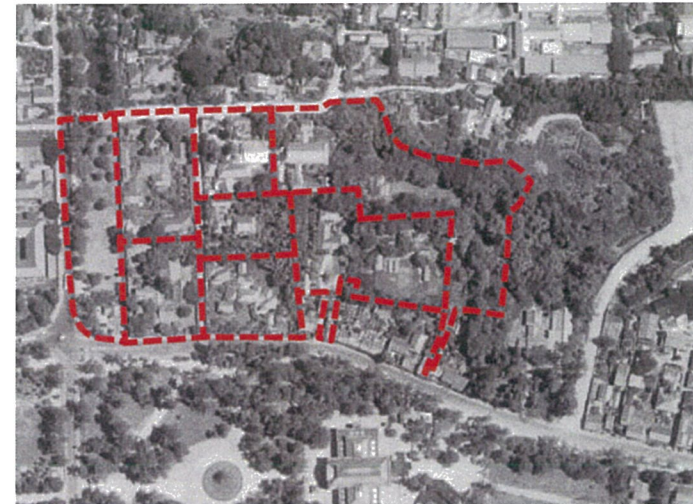
4. 航空写真からみる樹林地の変遷

※赤点線は現在の地割り

① 昭和21（1946）年10月2日撮影



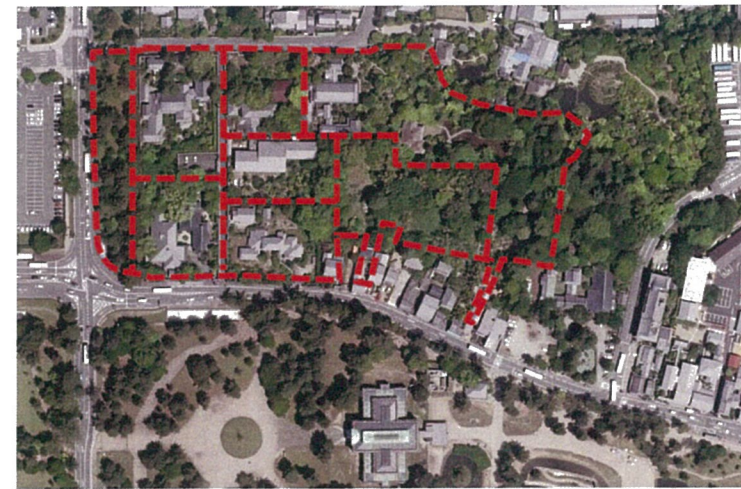
② 昭和36（1961）年6月19日撮影



③ 昭和54（1979）年9月11日撮影



④ 平成20（2008）年5月15日撮影



- ・昭和21年から平成20年にかけて、当該地の樹林地はほとんど変わることなく継承されている。
- ・名勝追加指定以前に整備された知事公舎や吉城園、旧世尊院、旧青少年会館は、庭園として樹林地を保存・継承している。追加指定後の整備ではあるが、副知事公舎についても同様に樹林地を保存・継承している。
- ・きんでん、古都買入地については、民間所有地であったことから多少の変化がみられる。